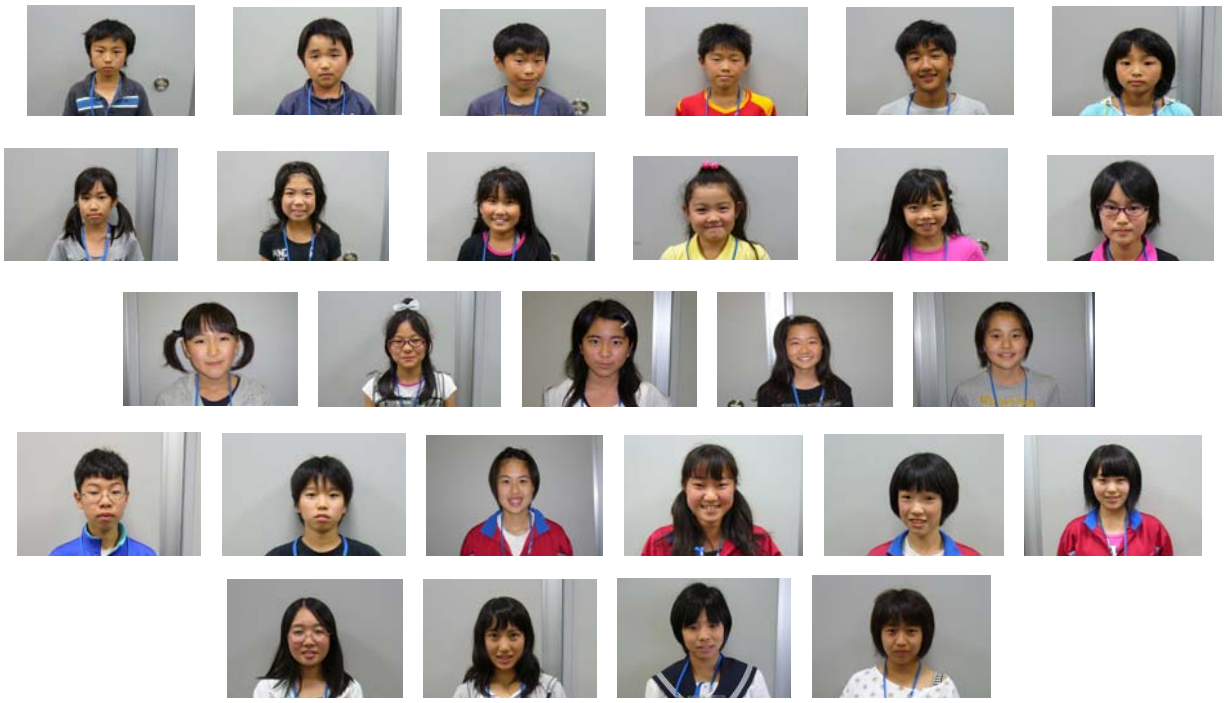
美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅
in シンガポール２０１１旅の感想



布土小５年

ぼくがすごしたシンガポールでの五日間は、ふり返るとたくさん思い出が残っています。

ホストファミリーの人たちはとてもやさしくていろんな場所につれていってくれました。シンガポールでは、日本とちがうところがたくさんあります。ぼくが印象に残ったのは、食生活のちがいです。シンガポールではほとんど外食で、味もこいめでした。お米はタイ米でパサパサしてあまりおいしくありませんでした。ぼくはとちゅうで思わずおみそしるが飲みたくなりました。街は思っていたよりも都会的な感じがしました。

ぼくがシンガポールで一番やりたかったことは、英語でホストファミリーの人と話すことです。でもなかなかうまく伝わらなくてむずかしかったけど、聞きとることはできました。学校でもなかなか話せずに、じゅぎょうにも参加できなかったけど、今度はまた機会があったら、もっと積極的に話してみたいです。そして、シンガポールだけじゃなくて、もっといろいろな国に行って英語が通じるようにしたいと強く思いました。

今までぼくは、シンガポールという国を本やしりょうでしか知らなかったけど、実際に行ってそのすばらしさを実感しました。ごみも全然落ちていないし、建物もたくさんあるきれいな国でした。国の面積がせまくても、ぼくにはとっても広く感じられました。これからもシンガポールのことをたくさん勉強して、いつかシンガポールにまた行きたいです。

布土小５年

ぼくは、シンガポールの人たちは優しいと思いました。ホストファミリーの人は二十日の夜にマックへ連れてってくれたり、二十一日は夜にマーライオンやマリーナベイサンズのレーザーショーに連れていってくれたり、二十二日は学校の後に博物館へ連れていってくれたり、食べたいものを食べさせてくれたりしました。

家の中ではパソコンで動画を見せてもらったり、ゲームをやらせてくれたりテレビを見せてもらったりしました。

あとシンガポールでは日本とちがうルールがいっぱいあっておどろきました。たとえば学校へアイパットをもっていたり、ウォークマンをもっていたりしていました。あと、ポイ捨てや、つばはきや、トイレの水を流さないことや、庭の草を一定の長さを越すことや、ガムをかんだりするのが全部禁止だったからおどろきました。

博物館ではシンガポールの歴史を知りました。ほかにも歴史だけではなく、昔使っていた金やテレビ、戦争のことや戦争の時に残った物などいっぱいてん示してありました。二十二日に行ったレーザーショーはものすごくきれいでした。マリーナ・ベイ・サンズからレーザーが出てきてぼくは、「すごいな。ホストファミリーの人たちはわざわざその日に合わせてつれてきてくれたのかな」と思いました。ぼくは、またシンガポールに行きたいなと思いました。

布土小５年

シンガポールの空港へとう着した時、わたしは、無事に着いてよかったと思いました。初めて会ったホームステイの家族は、やさしそうな人達で安心しました。だけど、自分一人でホームステイをした時間は思っていたよりも大変でした。わたしは、身ぶりで表現したり、少しわかる英語で「イエス」とか「ノー」と答えることしかできませんでした。本当は、もっとたくさんのことをホームステイの家族の人に言葉で伝えられたら、楽しくすごせてよかったと思いました。

イーミン小学校では、ゲームをしたり、工作をしたりすることができて楽しかったです。日本で練習してきた「マルモリ体そう」や「ふるさと」の発表は上手にできました。シンガポールの子達が喜んでくれたみたいだったので、うれしかったです。

シンガポールは、きれいなまちだったけど、美浜町のほうが自然がいっぱいあると思いました。高さ一六五メートルの観らん車は三十人乗りのゴンドラで大きくて、景色も良かったので楽しかったです。マーライオンは、大きいのと小さいのがあって、たくさん写真をとることができました。マリーナ・ベイ・サンズの見学はあとで日本の家族の人にうらやましがられました。

シンガポールのことなどを事前学習会で勉強したことがたくさん役にたちました。それに同じクラスの子がいたり、引率の先生や町長さん達がいたので安心して行くことができました。みんなのおかげで、無事にホームステイすることができました。

布土小５年

私は、シンガポールのホームステイに行って良かった事が三つあります。一つ目は、行く前に、英語の事やシンガポールの事を調べられた事です。シンガポールの事は何かのきっかけがないと、こんなに調べられないと思います。なのでこの事が良かったです。

二つ目は、向こうの食事や文化がわかった事です。向こうはほとんど外食で、なぜキッチンがあるんだろうと思ったくらいでした。文化では向こうの人は色々な国の人がいるけれど私が泊まった所は中国系の家族でした。その人達は、仏教でした。そうやってシンガポールには色々な人たちがいる事も知りました。

三つ目はシンガポールの子と仲良くなれた事です。私が泊まった所の家族は、お父さんが日本語を少し知っていたので、その女の子との会話も少しできました。その女の子は、すごく優しかったです。私がゲームを楽しそうにやったら、何度もやらせてくれたり、私がもっていったおり紙やその本などを楽しそうに遊んでくれました。お母さんは私の荷物のせいりなどを手伝ってくれたり、分からない英語は機械で訳したりしてくれました。

私はシンガポールにいって色々な事を知りました。少し日本とちがう所やにている所、いろんな事が五日間であったけど私は、シンガポールにホームステイをして、本当に良かったと思います。

河和小５年

ぼくは、シンガポールに行く前に不安なことがありました。それは、英語が話せないので、コミュニケーションがとれるか心配だったことです。でも、ホストファミリーの人は、パソコンとケイタイを使って英語を日本語に直してくれたので不安もなくなりました。

１日目は、電車に乗りショッピングに行き、食料品などを買って帰りました。２日目も電車に乗ってデパートに行ってそこで夜ごはんのおすしを買いそれから家で食べました。

３日目、イーミン小学校では、給食がなく自分のお金で買って食べました。勉強では、図工をやってあめ入れとかを作りました。その後、みんなでかんらん車に乗って写真をとりました。

４日目、ホストファミリーの人とニーアン中学校でお別れしました。その後、マリーナ・ベイ・サンズホテルの屋上でみんなで写真をとりました。マーライオンも見に行って、みたら大きいのと小さいのがいました。ナイトサファリはいろいろな動物の写真がとれると思っていたけど、フラッシュがだめで写真がとれなくて残念でした。

シンガポールの人の家は、アパートが多くていっけん家が少ないです。でも、その分ビルがたくさんありました。

シンガポールにまた行ったらホームステイ先の人の家に行きたいです。もしもシンガポールの子が家に来たら美浜町のいい所をたくさん案内したいです。

河和小６年

ぼくはこの旅を通じてとても貴重な体験をし、色々学ぶ事ができました。

初日、ホストファミリーとの対面式の時、ぼくはすごくきんちょうして学習会で練習した英語の自己紹介がうまくできませんでした。けれども、ホストファミリーのみなさんはとても親切で、二日目に色々な所に連れて行ってもらったりしているうちに、簡単な言葉でコミュニケーションをとることができるようになりました。言葉がなかなか通じなくても、お互いの気持ちは通じて、毎日楽しく過ごすことができました。

次の日は学校に行き、授業を受けました。そこでも向こうから積極的に話しかけてくれて、たくさん友達ができました。シンガポールの学校には、十時半頃に長い休み時間があり、学校にある食堂で好きな物を買って食べてもいいし、外で遊んでもいいのです。日本の小学校の給食と違って、ぼくはすごくおどろきました。それに、学校は一時半頃に終わり、部活もないことにもおどろきました。日本とシンガポールでは、学校もずいぶん違うんだなあと思いました。

この旅では、自分の習っていた英語もいろいろ試してみたかったのに、いざとなると英語をほんの少ししか話せず、もっとしっかり勉強していけばよかったと後悔しました。またこういう機会があったら、今度はもっと自信を持って話せるようにして行きたいです。

河和小６年

ぼくは、シンガポールに向かう飛行機のなかですごくドキドキしていました。

シンガポールの空港に着くともっとドキドキしてきました。

初めてぼくのペアの子と会った時、いきなりすごく早いえいごで話してきたので何を言っているのかさっぱり分かりませんでした。不安でいっぱいになってきました。毎日こんな感じだと困ったなと思いました。

そして、二日目は朝起きてすぐに外食でしたが、そのとき食べた料理はあまり自分のくちに合いませんでした。日本の料理が欲しくなってしまいました。

外食から帰って来てからプールに行き、ジャンプなどをして飛びこんだりペアの子としているうちに仲良くなり、楽しいことをしていると言葉がなくても通じるものがあるなあと思いました。

二日目の夜には大分英語になれてきました。

三日目は朝五時に起こされました。なぜこんなに早く起きるのかと思っていたら、六時半に学校に出かけて行った時にはびっくりしました。こんなに早く学校に行かなければならないんだと思い、今の自分が幸せに思えてきました。最後の日にはぼくのペアの子がけがをしてしまい、心配になりましたが、大したことなかったので安心しました。あっという間の四日間でした。ぜひまた、シンガポールに行く機会があったら、ペアの子の顔を見に行きたいです。本当に楽しいシンガポールでの体験でした。

河和小５年

私は、シンガポールへ行って、最初びっくりしたことがいくつかありました。一つ目は、事前学習会で英語を勉強していったのに、ホストファミリーの人が言っていることが全然分からなくて、困ったことです。次に家にお手伝いさんがいたことにもおどろきました。お手伝いさんはごはんを作ってくれたり、私の分までせんたくをしてくれたりもしました。事前学習会で食事は外食だと聞いていたけれど、少しちがいました。シャワーを一日に何回もあびたのも初めての経験でした。さっきシャワーをあびたのに、また「シャワー、シャワー」といいながらシャワールームへ入っていくので、びっくりしました。

でもびっくりしたのは最初だけでした。英語はなんども聞いているうちに、どういう意味か予想することもでてきました。音吉もこうやって英語を覚えていったのかなと思いました。お手伝いさんや、シャワーなどホストファミリーの習慣にもなれてきました。

そして帰るころには、ホストファミリーの家のセリーンちゃんとも仲良くなっていました。セリーンちゃんはとても明るくて、積極的な子です。私が日本に帰ってきてからもメールをたくさん送ってくれます。でも私は英語が分からないので、自分でメールを読んだり書いたりできません。セリーンちゃんに自分でメールが書けるようにもっと英語を勉強したいです。

河和小５年

私は、このシンガポールのホームステイの旅でいろいろなことを学ぶことができました。

シンガポールに着いた日はすぐにイーミン小学校でご飯を食べました。日本にあるおすしがシンガポールにあったけど、少しちがう味でした。その後ホストファミリーの家に行きました。家はマンションでした。とてもやさしくていい家族でした。私は英語はしゃべれないけれどジェスチャーなどで言いたいことを伝えました。シンガポールはシャワーだけで、トイレもシャワーの横にありました。家にキッチンがあったけど、ほとんど使っていませんでした。学校がある日以外の朝、昼、夜全部外食でした。夜ご飯の後にデザートでドリアンを食べました。初めての体験でした。ドリアンはすごくくさくて私はおいしいとは思えませんでした。三日目からイーミン小学校に行って一緒に授業を受けました。英語でしゃべっているので何を言っているのか、よく分からなかったけど算数の勉強をしていたり、体育をやっていました。朝ご飯は、牛乳だけで十時の休けいに学校でサンドウィッチなどを食べました。

ホストファミリーにいろいろな所に連れていってもらったりして言葉は通じないけど、すごく仲良くなれました。私が帰る日ホストファミリーが空港にみおくりに来てくれておみやげをくれました。すごくうれしくて、もう少しシンガポールにいたいと思いました。

このホームステイで体験した事は私の宝物です。ありがとうございました。

河和小５年

私は、ホームステイをして、たくさんの思い出ができました。まず、ホストファミリーとすごした時間です。ホストファミリーの人は、私を本当の家族のように仲よくしてくれました。日本に帰ってから、お母さんが写真を見て「ずっと前からの友達みたいだね」といいました。とってもうれしかったです。

次に、マーライオンとマリーナ・ベイ・サンズに行った事です。マーライオンは大きいかと思っていたら、とても小さくてビックリしました。マリーナ・ベイ・サンズは、一番上の船の形をしている所に行った事です。前からずっと行きたくて、行けると聞いた時には、跳び上がるほど喜びました。上からのけしきは最高でした。プールは時間がなかったので入れませんでした。でも、とてもいい思い出になりました。

最後に、私は、シンガポールの人のやさしさが思い出になりました。知らない人でも、目が合うとニコッとしてくれたり、やさしく話しかけてくれたりしました。私はシンガポールという国が大好きになりました。

河和小５年

私は、シンガポールに行っていくつか日本と違う事を見つけました。１ つ目は、「食べ物」です。シンガポールの水はすごくあまかったです。ホットケーキも見た目は日本と一緒だけど、味がうすくめっちゃもちもちしてたので口に合いませんでした。食べられる物も食べられない物もありましたが、できるだけ食べてどうしても食べられないものは、残しました。シンガポールの料理を食べるのも大切だと思ったからです。休みの日は、朝昼晩全部外食でした。

２つ目は、「おフロ」です。私のホームステイ先の家は、マンションでした。マンションは、シャワーだけでおフロはありません。朝も夜も入るかと聞かれました。洗面所とトイレとシャワーがいっしょになって２ヵ所あったのでとてもビックリしました。

３つ目は、「建物」です。シンガポールの建物は、とても変わっていて、タイムマシーンで未来の国へ行ったような気分になりました。田んぼや畑など、のどかな景色はありませんでした。

５日という短い期間だったけど、とても貴重な体験ができました。英語は、しゃべれないし聞き取れなかったけど単語が聞き取れたときは、とてもうれしかったです。英語ができないと不便なことが分かったので、しっかり英語を勉強しようと思いました。機会があればまたシンガポールに何回も行ってみたいです。

河和小５年

シンガポールの五日間の旅は、私にとってとてもきちょうな体験となりました。

初めてのホームステイだったので、勉強会での英会話をいかして会話ができるのか不安でしたが、イーミン小学校でホストファミリーと対面した時、ホスト先のお母さんがとても優しそうだったので、不安が少しなくなりました。

私のホスト先のチェンは、私よりとてもせが小さくておとなしい女の子でした。お母さんは、想像していたとおり私にとても優しくせっしてくれました。

シンガポールでの生活でおどろいたことは、おふろがないことです。おふろの代わりにシャワーを朝と夜あびます。それから、食事もほとんど外食で、家で食べる時もデパートで買ったものを食べます。デパートで買った焼きそばみたいなものは、日本とちがって太めんで、味は焼きそばとはとてもかけはなれたもので、口にあいませんでした。夜に行った中華料理は、とてもおいしかったです。

休日は、公園みたいな所に連れて行ってもらいました。そこは、つり橋やたきなどがありました。ホストファミリーのお父さんが、写真を何まいもとってくれました。

イーミン小学校でのお別れ会でひろうした「マルモリ体操」は、全校児童の前でやったのできんちょうしましたが、喜んでくれたのでよかったです。

この旅で、英会話が通じるか不安でしたが、単語とジェスチャーで通じることができ、またたくさんの友達を作ることができました。この経験を生かして、他の国とも交流できたらいいと思います。

河和小６年

私は、シンガポールへ行く日の前夜からとっても不安ときんちょうでいっぱいでした。一人で行っても、お話しをしたり、仲良くなれるかなとずっと思っていました。けれども、イーミン小学校の子たちが、おどりやおこと、カンフーのわざを見せてかんげいしてくれたので、とってもうれしかったです。ホストファミリーの方もとってもやさしくて話しやすかったです。わたしは、シンガポールでごくー部しかいないマレー系の家にホームステイしました。マレー系の人は、イスラム教のきまりで、８月中は朝と昼はごはんを食べてはいけなくて、私は、とても食べずらく、少ししか食べませんでした。でも、とても貴重な経験ができてうれしく思います。学校では児童がケータイやお金、食べ物などを持ってきていてとてもおどろきました。給食はなく、各自が食堂で買って食べていました。授業では、席をふつうに立ったりして自由な感じがしました。クラスメートのみんなが、一人一人声をかけてくれてとってもうれしかったです。市内観光では、マリーナ・ベイ・サンズの屋上に行き、とても景色がきれいで、シンガポールの街を見下ろしました。マーライオンは、とても大きくて立派でした。ナイトサファリで、ライオンやゾウ、クマなどの大きな動物が近くで見ることができました。すこしこわかったけど、貴重な体験ができました。シンガポールへの旅はつかれたけど、その倍以上楽しかったです。

河和小６年

私は、ホームステイの旅でシンガポールに行けてとてもよかったです。なぜなら、大好きだった英語がもっと好きになったからです。

私は英語を習っていますが英会話が苦手で、相手が言っている英語に意味がよく理解できませんでした。でも、シンガポールに行ってホストファミリーの人たちと英語で会話をしているうちに、だんだん相手が言っている英語が理解できるようになりました。でも、私から英語で話しかけることは全然できませんでした。なので、もっともっと英語を勉強して、相手が言っている意味を理解できるようにして、私から英語で返事ができるようになりたいです。

もうーつ、シンガポールに行けてよかったと思うことがあります。それは、シンガポールの文化を学べたことです。

シンガポールのご飯はタイ米と言って、日本のお米とは違って少しパサパサしていました。最初は日本のお米の方がいいなぁと思いましたが、食べているうちに段々とタイ米にも慣れてきて美味しく感じました。でもやっぱり日本のお米の方が美味しいです。あと、食事の時にシンガポールの人はフォークとスプーンを使って食べたので、私も真似をしてみましたが簡単にできました。

今回の旅は始めてのことばかりだったけど、日本の友達、シンガポールの友達ができ、とても楽しい旅でした。またシンガポールや他の国にも行ってみたいです。

河和南部小５年

私は、シンガポールでたくさんの経験をしてきました。行く前はとてもきんちょうしていました。「ホストファミリーの人はどんな人だろう。」と、とてもきんちょうしていました。

シンガポールのイーミン小学校でのホストファミリーの人に会う時、きんちょうがこみあげてきました。その時は、お母さんは仕事で会うことができませんでした。家に行くと、お姉さんやお父さんがやさしくむかえてくれてとても安心しました。でも一つだけ心配なことがありました。それは、ごはんです。日本とはお米も種類がちがい、シンガポールのお米はタイまいです。ごはんも少ししか食べられませんでした。

ホストファミリーの人と一緒に買い物に行きました。日本のお父さん、お母さんにおみやげもかってくれました。シンガポールのデパートには日本に売ってない物があり、とてもびっくりしました。

イーミン小学校で授業をうけました。三角形のもとめ方を勉強していました。そして、シンガポールのかんこうをしました。シンガポールフライヤーに乗ったり、マリーナ・ベイ・サンズを案内してもらったり、マーライオンも見に行ったりしました。でも一番楽しかったのはナイトサファリです。夜こうせいの動物を見ることができてい楽しかったです。

ホストファミリーの人とお別れするのはさびしかったです。でも日本に帰ってきてもパソコンでメールをします。また、このような旅のようにシンガポールに行くきかいがあったら、またシンガポールに行きたいです。

河和南部小６年

私は、今年初めてシンガポールにホームステイに行けました。行けることになった時はすごくうれしかったです。

シンガポールの空港へ着いた時は少し緊張して、ホストファミリーに迷わくかけないようにできるかなと思っていました。

シンガポールの小学校は、とてもカラフルでした。中へ入ったら、とても広くてびっくりしました。ホストファミリーと会った時はまた緊張してきて、もう当分日本語をしゃべれないんだなと思いました。初めてしゃべりかけられた時は、何て言っているか分からなくて、なかなか返事を返せなくて困ってしまいました。でも、分かって返事を返せた時はうれしかったです。もっと話したいと思いました。

三日目は、みんなと会って久しぶりに日本語がたくさん話せました。その後に、シンガポールフライヤーに乗って、たくさんの人と乗れたのでうれしかったです。

四日目は、もう最後だったのですごく早かったなと思いました。ニーアン中学校へ行ってそこでシンガポールの子とお別れをしました。その後は。マーライオンやマリーナ・ベイ・サンズの写真をたくさんとりました。夜には、ナイトサファリへ行って、普段とはちがう感じで動物を見ることができました。

シンガポールは、日本とちがうところがあって生活がとても楽しかったです。少し大変な事もあったけど、いい思い出になりました。

河和南部小６年

私はこのホームステイ行きが決まったとき、とてもうれしかったです。理由は、去年行きたくても行けなくてとても残念だったからです。今年は事前学習会があると聞いてとてもうれしかったです。私は、英語を習っていないので正直とても不安でした。事前学習会では、大学生の人が優しくていねいに教えてくださったので分かりやすかったです。しかし、親なしで３泊５日の長い旅行はしたことがなかったので本当に大丈夫かなとも思いました。でも、実際ホストファミリーの人と会うと、家族の人も温かくむかえてくれたのでうれしかったです。

むこうでしかない行事のこともたくさん教えてくれました。日本人一人で、ホストファミリーの人が話していても英語が分からなくて会話に入れなかったから、今度海外に行く時は、もっと英語を勉強して人前で話せるようにしたいです。

二日目のシンガポールフライヤーは初め見たとき、とてもびっくりしました。日本では見たこともない大きさで初めて見ました。頂上から下を見ると少しこわかったです。四日目には、マリーナ・ベイ・サンズに行きました。最上階は、プールとジャグジーみたいな所がありました。行ってみたかったので行けてうれしかったです。景色もとてもきれいでした。

シンガポールはとてもきれいでした。これもきびしい法律があるからだと思います。とても良い経験になりました。

河和中１年

ぼくは、シンガポールへホームステイに行きました。ぼくは、そこでたくさんの事を学びました。

一つ目は「言葉」です。シンガポールには、いろいろな国の出身の人がいます。シンガポールの学校では、自分の出身の国の言葉と英語を勉強しています。日本でも、国語と英語をやっています。だから、英語は世界の人々にとって重要な言語だと思いました。

二つ目は「優しさ」です。ぼくがホームステイを始めた時、言葉が分からず、少し不安だったりさびしくなったりした事もありました。でも、ホストファミリーの人は、本当の家族のように優しくしてくれて、楽しくホームステイをすることができました。

三つ目は、「コミュニケーション」です。ぼくは、シンガポールではコミュニケーションをとらないと、自分の考えが相手に伝わらないという事を実感する事ができました。それにコミュニケーションをとれば、相手の考えが分かり、自分の考えの幅がさらに広がると思いました。

ぼくは、シンガポールでのホームステイで学んだ事を忘れずにこれからを過ごそうと思いました。そして、大切な事をもっと見つけて、他の人に伝えたいと思いました。

河和中２年

ぼくは八月二十日から八月二十四日までシンガポールにホームステイに行きました。シンガポールのイーミン小学校で歓迎を受け、そこで初めてホストファミリーに会いました。とても優しそうな家族でした。英語はしゃべれるか心配だったけど iPad を使って言いたいことを伝えました。

二日目は、バードパークという鳥の動物園に連れていってもらったり、夜はシンガポールフライヤーという観覧車に乗ったりしました。そこからの景色はすごくきれいでした。高さは百五十メートルもあるそうです。

一番心配だったのがご飯のことです。シンガポールに行った友達が「ご飯がまずい」と言っていたのですごく心配でした。シンガポールでは変わったデザートやご飯がたくさんありました。苦手なものもあったけど、ほとんどがおいしく食べることができました。

シンガポールと日本の違いはたくさんありました。特に印象に残ったのはいろいろな国の人が住んでいることです。中国系・マレー系・インド系などの人が住んでいました。マレー系の人やインド系の人は少しかわった服装をしていたのでおどろきました。

シンガポールはこのように日本とは違いいろんな文化がある国です。ぼくはこの旅でたくさんの事を経験させていただき感謝しています。

河和中２年

私は、シンガポールに行く前に少し不安がありました。それは「英語が上手く話せるか」ということです。私は英会話が苦手なので、相手に自分の意思を伝えられるか不安でした。でも意外に伝わったのでよかったです。私がホームステイした家の人はとっても優しくしてくれました。シンガポールについていろいろ教えてくれました。そのおかげで最初にあった不安もなくなりました。

日曜日には、いろいろな場所につれていってもらいました。その中で一番印象に残っているのは誕生日会です。その日はホストファミリーのいとこの誕生日で、私も呼ばれたので行きました。日本とは全然違いました。日本よりすごく派手でした。ご飯もいろいろありました。.すごく楽しかったです。

月曜日と火曜日には、半日学校に行きました。授業は全て英語で説明しているので、全く内容が分かりませんでした。午後からは、マリーナ・ベイ・サンズや政府観光局などに行きました。いろいろ勉強になったし楽しめました。火曜日の夜には、ナイトサファリにも行きました。想像していたより楽しくてよかったです。帰国するときには、少しさみしかったです。

今回の体験を終えて、まず初めに思ったことは「また行きたい」ということでした。こう思えたのも、シンガポールで充実した時間をすごせたからだと思います。私は、シンガポールで学んだことをこれからの勉強にいかせるといいなと思います。

河和中２年

私は、八月二十日から二十四日までシンガポールに行きました。私は今回でシンガポールに行くのは二回目でした。

シンガポールでは、ホームステイをしました。周りに日本人はいないので、英語で会話をしました。時々、聞きとれなくて応答に困るときもありました。

シンガポールでは、いろんな場所に行きました。マリーナ・ベイ・サンズやナイトサファリ、セントーサ島など、他にもたくさん行きました。ニーアン中学校にも行きました。ニーアン中学校はすごく広かったです。授業は言ってることが全然わかりませんでした。ニーアン中学校に行って一番驚いたことは、学校に売店があったことです。ニーアン中学校では給食がないので、お金を自分達で持って行って売店で買って食べていました。食べる時間も皆違っていて、体育が終わってから食べている人もいました。

シンガポールと日本では食べ物も違っていました。でも日本食もありました。シンガポールで食べたお米は、すごくパサパサしていました。

シンガポールに行って、日本と違うところやシンガポールのことを学べたので良かったです。また、外国に行って英語で完璧に会話ができるようにしたいと思いました。

野間中学校の子とも仲良くできて良かったです。

河和中２年

私は、シンガポールにホームステイをするという貴重な経験ができました。

ホストファミリーの方はとても優しく接してくれて温かく受け入れてくれました。私をシンガポールのいろいろな観光地に連れていってくれました。マーライオンはとても大きくておどろきました。お父さん・お母さん・子供ライオンがいる事も知りました。

シンガポールにはゴミをポイ捨てしたら罰金という法律があります。なのでシンガポールはとてもきれいでした。あとマンションの数がとても多く一軒家の数がとても少なくて人口密度の高い国だと思いました。

シンガポールは多国民族の国で中国の人やマレーの人やインドの人などの人たちが多くいます。民族はちがうけどいろいろな人たちが助け合いでできた国でもあり、英語を中心に中国語やマレー語など生活の中で色々な言葉がしゃべれるようになっていいなと思いました。シンガポールの中学校では、日本と違うところがありました。それは中学校に携帯をもっていっていたり、中学校のなかに食堂があったりと日本もそうなればいいなと思うところもありました。

今回、シンガポールでホームステイしてみて、言葉が通じないこともあったけど、ホストファミリーの方が優しく接してくれた事と忘れられない色々な経験が私の宝物となりました。

河和中２年

私は、今回ホームステイというとても貴重な体験ができました。

最初は、家族と離れて一人でホームステイをするので不安がもちろんありました。

でも、シンガポールでは、ホストファミリーの方が色々な場所へ連れて行ってくれたり、笑顔で優しく接してくれたりしたので、楽しく過ごすことができました。

私は、英語できちんと話せるか心配でしたが、ジェスチャーで伝えたりして、なんとか通じ合うことができ、安心しました。シンガポールの食べ物は、日本とは全然違い食べ慣れない物もありましたが、食習慣など勉強できました。

ニーアン中学校では、授業に参加しましたが内容は言葉が解らない事もあり座っているだけのようなものでした。クラスのみんなが、手紙をくれたので嬉しかったです。ニーアン中学校には給食というものがないので、ドラマで見るような、大学生が食べている学食を食べました。初めての学食をシンガポールで食べられるというおもしろい体験でした。シンガポールでは、高層ビルなどすごく立派な建物がどんどん造られていました。街にはゴミなど一つも落ちてなく、たばこの吸いがらやガムの包みなど日本で見られる光景はありませんでした。とても厳しく取り締まられていると実感しました。

五日間という短い期間でしたが、たくさんの思い出ができ、とても楽しかったし本当に行って良かったと思います。

野間中３年

私がシンガポール交流の中で、印象に残っていることは、シンガポールの料理とシンガポールの街並みです。

シンガポールのお米は、タイ米が使われているものが多く、細長い形で食感はパサパサしていました。日本米に慣れていることもあり、私は日本米の方がおいしい、と思いました。食べ物は、魚料理よりも肉料理が多かったです。チキンライスやドリアンなど、独特な物も味わうことができました。

また、シンガポールは、私が思っていた以上に都会で、高層マンションやビルがとても多かったです。その理由のひとつは、シンガポールに住む人の七割の人がマンションに住んでいるから、ということでした。

そして、横断歩道も特徴がありました。日本のものとは違い縦線が二本引いてあるだけのもので驚きました。工事中の建物も多く、この先まだまだ発展していく予感がしました。

しかし、水の供給の問題があるということでした。シンガポールはマレー半島の先の島国で、水の確保に困るそうです。それで、街の中に水を貯めておけるような施設を作るといった工夫がされていました。

今回、シンガポールに行って、実際にシンガポールの食べ物を食べたり、文化を学んだり、生活を体験したりと、大変貴重な経験になりました。日本とシンガポールは、文化や食べ物に違いがありますが、とても素敵な国で、ぜひまた訪れたいと思いました。

野間中３年

私がシンガポール交流の中で、印象に残っていることは、ホストファミリーと出かけた買い物や、シンガポールの観光、たくさんの人との会話です。

一日目の夜、私はホストマザーに「明日はどこに行きたい？」と聞かれました。私は買い物をしたいと行く前から思っていたので、「ショッピングがしたい」と答えました。ホストマザーは快くＯＫしてくれました。買い物先では、店の数に驚きながらも、おしゃれな服や変な顔のキーホルダー、鳥の丸焼きなど、日本にはない独特な雰囲気を味わうことができて、とても面白かったです。

また、四日目に行ったマリーナ・ベイ・サンズやマーライオンでは、たくさん写真を撮って楽しむことができました。

そして、会話です。私はシンガポールで、英語を積極的に使おう、と思っていました。しかし、実際には何度も聞き返したり、相手を困らせたりする場面がありました。そのとき、「もっと英語を上手に話せるようになりたい」と強く思いました。今後、しっかりと勉強をして、大人になったら、海外の人々と関わるような仕事に就きたいと思います。

今回の交流を通して、シンガポールの生活や文化に直接触れるという、貴重な体験ができて本当によかったと思っています。日本とは違う、学校生活や文化、そして、新たな人との出会いなど、なにもかもが新鮮でおもしろかったです。

野間中３年

私がシンガポール交流の中で、印象に残っていることは、交流にいったニーアン中学校の授業と体験学習、そして、ホストファミリーと一緒に過ごした時間です。

私は、ニーアン中学校で数学と中国語の授業を受けました。数学は、同じ中学三年生の授業でしたが、とても難しい内容でした。すべて英語での説明だったので、分からないことだらけでした。もっと英語が分かるようになりたい、と思いました。

また、みんなでシンガポールの伝統料理である、餃子のような食べ物も作りました。小麦粉から生地を作り、中には魚のすり身のようなものを入れました。不思議な味でした。

他にも、手にチョコレートペンのようなものでペイントをしました。ホストのシウフィが書いてくれてとても上手で驚きました。

そして、ホストファミリーは、私をいろいろな所へ連れて行ってくれました。大きなプールで一緒に泳いだり、セントーサ島という所で、ゴーカートと小型のそりを合わせたような乗り物に乗ったりしました。スリルがあって、とても楽しかったです。

この五日間、私が楽しく過ごせたのはホストファミリーのおかげだと思います。五日間を通して少しずつですが、英語も理解できるようになった気がします。今回、ホームステイという貴重な経験ができて本当によかったです。この五日間は、私にとって最高の思い出です。

野間中３年

今回の交流の中で、特に印象に残っていることは、ホストファミリーや新しい友達との出会いです。

私は、今回初めてシンガポールに行きました。家族のもとを離れ、五日間シンガポールで過ごしました。最初は、英語が話せるか、すごく不安でした。実際にシンガポールの人たちの英語を聞いて、スピードがとても速く、聞きとりにくい時もありましたが、私を受け入れてくれたホストファミリーの人たちは、不安でいっぱいの私をとても優しく笑顔で迎えてくれました。ホストファミリーは、私を「マリーナ・ベイ・サンズ」という有名なホテルにも連れて行ってくれました。そのホテルのプールにも行きました。そこで見た景色は忘れられません。

また、野間中学校で参加した他の三人とはもちろん、一緒にいった河和中のみんなや小学生とも仲良くなりました。ニーアン中学校でも、ホストファミリーの子を通じて、シンガポールの子とも友達になりました。シンガポールの子たちはとても気さくで、面白い子が多かったです。

この五日間、みんなと過ごしたこの時間は、私にとって一生の宝物です。また、シンガポールに行くことがあったら、しっかりと勉強をして、もっと深くシンガポールのことを知ることができるようにしたいと思いました。

お別れ会で代表者の英語によるあいさつ